

ソーシャルビジネス・ネットワーク



平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日  
年次レポート

S B N

ANNUAL REPORT  
Social Business Network (SBN)

## 代表理事からのご挨拶

ソーシャルビジネス・ネットワーク(SBN)が設立されて6年が経ちました。自社の利益だけを追求する企業活動ではなく、ビジネスの手法を通して社会的課題を解決するような企業を育てようとSBNは誕生しました。確かに、経済成長のみを至上目的とする社会は、物質的豊かさや便利な社会を実現してきました。しかし一方で、競争の激化や格差の拡大、コミュニティの崩壊、環境破壊などの弊害も生み出してきたのです。企業経営に対する考え方が変わってきました。企業といえども社会的責任からは免れられないということが常識になってきたのです。

そもそも、ソーシャルビジネスという考え方は、自然環境、貧困、高齢化社会、子育て支援などといったさまざまな社会的課題をビジネスの手法で解決することを言います。ノーベル平和賞受賞者で経済学者のムハマド・ユヌス博士が、著書「貧困のない世界を創るーソーシャルビジネスと新しい資本主義」で定義して世界にあってという間に広がりました。SBNは、日本にソーシャルビジネス、社会的企業という考え方が、もっともっと広がることを期待して活動を進めています。

企業は倒産することは許されません。周りの企業や取引先、社会に大きな迷惑をかけるからです。しかし同時に、志を失った企業の活動もまた社会に迷惑をかけることがあるのです。環境破壊、公害を吐き出す、コンプライアンスに反する、こうした企業活動は社会に甚大な悪影響を及ぼします。企業の本業でいかに社会貢献をするか、社会的責任をどう果たしていくか。しかも、その活動は持続可能なものでなければならない。ソーシャルビジネスでは、そのような企業活動が求められているのです。

エクアドルに「ハチドリ一滴(ひとしずく)」という民話があります。山火事になって、他の動物たちが逃げても、ハチドリはくちばしを使って水を運んでは落とす。その行為で火は消えないが、ハチドリを見た動物たちは森に戻ってくる。意味がないような行為でも、社会に影響を与えることがあると教える民話です。ハチドリのような志を企業活動に活かすことはできないものかと思います。

東日本大震災以降、日本ではさまざまなソーシャルビジネスが生まれました。復興の過程で多くのビジネスが生まれ、それがそのまま地域や社会に貢献する活動となっていきました。そうした企業の中には、6年を経て、立派に成長した企業もあります。いま必要なことは、そうした志を同じくする企業、団体、個人の知恵を結集し、つながり、力を合わせることでないでしょうか。「ソーシャルビジネス・ネットワーク」は、その役割を担うためにこそ存在しています。多くの皆様が当団体に参加していただけますことを心から願います。



一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク  
代表理事 藤田和芳

## 目次

<b>I. 事業報告</b> .....	<b>3</b>
1 今期戦略方針の振り返り.....	3
1.1 事業に関する方針.....	3
1.2 組織運営に関する方針.....	3
2 個別事業報告.....	3
2.1 シフトラボ事業.....	3
2.1.1 個人向けプログラム実施・開発状況.....	3
2.1.2 法人向けプログラム実施・開発状況.....	7
2.1.3 プログラム実施のためのフィールド開発状況.....	8
2.1.4 プログラム推進のための「SHIFT ディレクター会議」の実施.....	8
2.2 社会的起業家 100 人インタビュー.....	8
2.3 政策提言・研究事業.....	9
2.4 国際協力事業.....	9
2.5 顕彰事業.....	9
3 組織運営報告.....	9
3.1 会員について.....	9
3.2 広報・PR.....	10
3.3 定例会議.....	10
<b>II. 事業計画</b> .....	<b>11</b>
1 今後の活動計画の考え方.....	11
1.1 短期的計画.....	11
1.1.1 「シフトラボ」事業の継続的な展開.....	11
1.1.2 「シフトラボ」事業の新たな展開.....	12
1.2 中期的計画.....	13

## I. 事業報告

### 1 今期戦略方針の振り返り

理事会及び社員総会での承認のもと、以下の計画に基づき、事業推進、組織運営を図ってきた。

#### 1.1 事業に関する方針

課題先進国である日本の不安な今を乗り越えていくため、社会を良くするために活躍する「社会的企業家」が求められている中、社会的企業家を輩出するために、多様な生き方や働き方を体験し、社会的企業家とともに社会づくりに参画できる様々なプログラムを提供する「シフトラボ事業」を中心的に展開する。

#### 1.2 組織運営に関する方針

中期的な考え方として、SBN としての事業収益構造について、7 割補助金等行政予算、3 割自主事業(会費含む)を目指す。

## 2 個別事業報告

### 2.1 シフトラボ事業

#### 2.1.1 個人向けプログラム実施・開発状況

##### (1)シフト体験

##### ①ワンデイ・シフト

No	受け入れ先事業者	開催日
1	有限会社ネパリ・バザー口	7月7日、8月4日
2	認定 NPO 法人アサザ基金	7月16日
3	株式会社ユーズ	7月16日、8月17日、11月19日
4	株式会社カスタネット	7月22日、8月19日、9月16日、10月22日、11月18日、12月15日
5	公益財団法人 民際センター	8月4日
6	株式会社大川印刷	8月20日
7	株式会社イータウン	7月2日、8月19日
8	有限会社ココ・ファーム・ワイナリー	7月16日、9月17日
9	株式会社森のエネルギー研究所	10月19日
10	有限会社ココ・ファーム・ワイナリー	7月16日、9月17日
11	株式会社キャリア・맘	8月27日、11月10日
12	株式会社フェリシモ	7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日

## ②シフト・ツアー

No	ツアー名	開催日
1	砥意志(といし)のものづくりの現場を視察・体験し商品開発会議に参加してみませんか	6月25日～26日
2	ソーシャル・イノベーションツアー(バリ島ウブド6日間)@アースカンパニー	9月8日～13日
3	「ていねいに生きる」企業の仕事体験～齊吉商店&アンカーコーヒー	8月27日～28日
4	『で、富良野。』コミュニケーションワークショップ@はまやらワークス	8月5日～6日
5	うんなん田舎起業ツアー～雲南市で起業した方などを巡るツアー～@雲南市	9月3日～4日
6	北海道に自然エネルギーの未来を探る旅～もう始まっていた農村の新しい経済のカタチ	10月14日～16日
7	「砥意志の収穫祭2016」やります、まざりませんか?	10月22日
8	大地宅配、パタゴニア いわきオーガニックコットン収穫ツアー	11月3日

## ③シフト・インターン

No	受け入れ先事業者	開催日
1	NPO 法人じぶん未来クラブ	6月末より募集中
2	株式会社アットマーク・ラーニング	6月末より募集中
3	フェアトレードカンパニー株式会社	12月からの長期員インターンシップ
4	株式会社森のエネルギー研究所	10月19日～24日

## (2)シフト実験

### ①シフト塾

No	プログラム名	開催日
1	自然エネルギーシフト塾～自然エネルギー活用による地域シフトのチャレンジを学ぶ	7月11日～11月5日(全8回)
2	障がい者雇用塾 ～障がい者雇用によるダイバーシティの革新を学ぶ	7月11日～11月5日(全8回)
3	フェアトレード・ビジネス塾～途上国とのビジネスを検討の方、SDGsの中でも注目されているフェアトレードについて学びませんか	11月17日～12月10日(全8回)

また、上記の塾の他、以下の連続講座(丸の内プラチナ大学)を、株式会社三菱総合研究所、エコツェリア協会(一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会)と協働で展開した。

- ・ ヨソモノ街おこしコース
- ・ 農業ビジネスコース
- ・ 地域デザインコース
- ・ CSV 実践コース
- ・ 事業戦略プロボノコース

### ②シフト・トライアル

No	プログラム名	開催日
1	「CHIGGOTAL(ちっこたる)」フィールドワーク&ワークショップ～筑後のものづくりを地域活性に生かす	11月～1月(フィールドワーク1回、ワークショップ2回)

### ③シフト・フォーラム

No	プログラム名	開催日
1	丸の内プラチナ大学 オプション講座「教育支援に役立つ”企業リソース”を発掘しよう！」	7月28日
2	ガイア都市創造塾「ONE DAY STAGE」	8月8日
3	「グローバルな時代に輝くファッション」SHIFT lab Special session	8月24日
4	「サステナブルな社会に向けて行動しよう」～株式会社福市10周年に寄せて～	11月24日

### (3)シフトアクト

#### ①シフト・プロデュース

No	プログラム名
1	『砥意志』(といし)の魅力を伝える仲間になりませんか？
2	『砥意志』(といし)の商品開発の現場に参加してみませんか？
3	福岡県・筑後でものづくりをしている方々と様々な企画やコラボレーションなどを一緒に考えてみませんか。
4	櫛を使った商品の魅力を多くの方に知っていただく為のイベントやプロモーションと一緒に企画・運営してみませんか。
5	誰にも居場所と出番のある「匠ビレッジ」づくりの事業企画を募っています
6	「信頼資本財団」イベント参加者募集
7	ぞうさんカフェでは、様々なプログラムに参加することができます
8	トナーカートリッジを購入が、カンボジアの子どもたちの支援につながります
9	「大地を守る会」イベント参加者募集
10	使用済み天ぷら油の回収にご協力ください
11	アジアの子どもたちの里親になりませんか

#### ②キャリア・シフト

No	プログラム名
1	正社員募集 株式会社カスタネット
2	アースカンパニー、監事募集
3	株式会社ユーズ、正社員、パート募集
4	公益財団法人 民際センター、正職員募集
5	有限会社ネパリ・バザー口、正社員、パート募集

#### ③シフト・コミュニティ

No	プログラム名	プログラム名
1	自然エネルギー・シフト・コミュニティ	12月より、毎月1回ベースで会議を行う。次年度は会費制によるプロジェクトベースでの展開を予定。
2	障がい者雇用コミュニティ	12月より、毎月1回ベースで会議を行う。

## 2.1.2 法人向けプログラム実施・開発状況

### (1)人材研修事業

- ・ 株式会社富士ゼロックス 総合教育研究所:JR東日本東北総合サービス株式会社社員を対象としたフィールドワークショップを実施。
- ・ NEC グループ
- ・ 三井化学株式会社
- ・ キリン株式会社
- ・ 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
- ・ 日本証券業協会、第二種金融商品取引業協会

### (2)事業開発・SR 事業

- ・ 東京急行電鉄株式会社
- ・ NEC グループ:SHIFT for Second Stage ~ワークシフト塾
- ・ 積水ハウス株式会社
- ・ 松竹株式会社
- ・ 日本証券業協会、第二種金融商品取引業協会
- ・ 一般社団法人日本経済団体連合会社会貢献担当者懇談会
- ・ 三菱地所株式会社
- ・ フィリップ モリス ジャパン合同会社
- ・ 電源開発株式会社
- ・ 株式会社電通
- ・ 日本アイ・ビー・エム株式会社
- ・ MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社(三井住友海上火災保険株式会社)

### (3)ソーシャルマーケティング事業

- ・ ヤマハ株式会社
- ・ キッコーマン株式会社



### 2.1.3 プログラム実施のためのフィールド開発状況

プログラム実施のためのフィールドとして、以下の自治体開発を行ってきた。

- ・ 陸前高田市:株式会社アイエスエフネットの協力により、内閣府、日本財団の補助金による「匠ビレッジ」事業を提案
- ・ 神奈川県:「シフトラボ神奈川」事業を提案
- ・ 長野県:中島副知事とソーシャルビジネス事業推進に関しての今年度、来年度展開を検討
- ・ 福岡県川崎町:ラピュタファームやアットマーク明蓬館高等学校と連携した地方創生事業を検討
- ・ 茨城県阿見町:地方創生に関わる生涯活躍のまち推進事業に関しての展開を検討

### 2.1.4 プログラム推進のための「SHIFT ディレクター会議」の実施

プログラム企画開発や運営をサポートするコーディネーター的立場である「SHIFT ディレクター」との会議を行い、「ワンデイ・シフト」サービスを中心にプログラム開発および推進を行った。

## 2.2 社会的事業者 100 人インタビュー

川北秀人理事発案のもとで展開している「社会事業者 100 人インタビュー」は半数を超え、今後も 100 人へのインタビュー実現に向け、継続展開を図る。

#### 【実施報告】

回	開催日時	開催場所	ゲスト	参加人数
第 48 回	2016 年 7 月 18 日(月・祝) 18:00~20:30	国立オリンピック記念青少年総合センター	一般社団法人りぶらす 代表理事 橋本大吾 氏	11 人
第 49 回	2016 年 7 月 28 日(木) 18:00~20:00	いわて県民情報交流センター(アイーナ)807 会議室	消費者信用生活協同組合 理事長 横沢善夫 氏	2 人
第 50 回	2016 年 9 月 7 日(水) 18:30~20:30	山形市市民活動支援センター 高度情報会議室	特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋由和 氏	43 人
第 51 回	2017 年 1 月 10 日(火) 10:00~11:30	生活クラブ館	生活クラブ生活協同組合・東京専務理事 村上彰一氏	非公開インタビュー
第 52 回	2017 年 2 月 22 日(水) 18:00~20:00	ユニバーサルスペース夢喰夢叶(大分県別府市)	特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた 会長 米倉仁 氏	10 人
第 53 回	2017 年 3 月 30 日(木) 11:00~15:30	ココ・ファーム・ワイナリー(栃木県足利市)	社会福祉法人こころみる会理事長 有限会社ココ・ファーム・ワイナリー専務取締役 池上知恵子氏 同理事会事務局長 同 C.O.O. 牛窪利恵子氏	16 人

### 2.3 政策提言・研究事業

「社会的養護下にある子の自立を考える研究会」への参画

一般社団法人ユニバーサル志縁社会創造センター代表理事(社会福祉法人 生活クラブ風の村 理事長)の池田徹 氏より要請があり、掲題の研究会に参画し、提言や基金設置、運営委員会への展開を目的に検討中。

- ・ 第1回 7月21日開催:厚生労働省 関係者ヒアリング
- ・ 第2回 10月24日開催:推進事業者ヒアリング
- ・ 第3回 1月12日開催:基金設置案・報告書案検討

### 2.4 国際協力事業

韓国大邱市 市民公益活動支援センターとの協定締結

2016年9月28日、韓国大邱市(ソーシャルビジネス支援推進室)および、NPO支援センターからの要請により、社会的企業の国際ネットワーク構築に関する協定を締結。

### 2.5 顕彰事業

「みんなの夢アワード7」の共催

公益財団法人 みんなの夢をかなえる会が実施する、夢のあるソーシャルビジネスを応援する懸賞事業、「みんなの夢アワード7」を共催。

## 3 組織運営報告

### 3.1 会員について

現状の会員数は以下の通りである。

会員種別	資格	金額	数
法人会員A パートナー	当法人の目的に賛同して入会した 年間売上高10億円以上の法人	10万円/一口	5社
法人会員B パートナー	当法人の目的に賛同して入会した 年間売上高10億円未満の法人	3万円/一口	11社
個人会員 メンバー	当法人の目的に賛同し、有料会員 として入会した個人	1万円/一口	17口

### 3.2 広報・PR

メールマガジンやフェイスブック等での情報発信を行ってきた。メールマガジン読者は 3,002 人 (昨年度 2,995 人)、フェイスブック登録者は 2,546 人 (昨年度 2,200 人) となっている。(2017 年 3 月末)「SHIFT lab」オリジナルサイト、フェイスブックページも合わせて設置、運用した。

### 3.3 定例会議

計画に基づき定例会議を開催した。

#### 【開催日程】

種別	開催日時 (開催場所)	議題	参加者 (定足数)
理事会・社員総会	2016 年 6 月 28 日 (火) 17 時～18 時 ( 3×3 Lab Future)	第 1 号議案: 人事について 第 2 号議案: 平成 27 年度 (平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月) 事業活動報告 第 3 号議案: 平成 27 年度 (平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月) 事業収支報告 第 4 号議案: 平成 28 年度事業活動計画 第 5 号議案: 平成 28 年度事業収支計画	社員 100 名中、出席 20 名、委任 35 名、計 55 名
SBN 特別プロジェクト委員会 (SHIFT ボード会議)	2016 年 12 月 12 日 (月) 18 時～20 時 (事務局会議室)	活動報告(プログラム実施状況、法人・地域、開発状況)、活動計画	藤田和芳代表理事、熊野英介副代表理事、町野弘明専務理事、植木力常務理事、海津歩常務理事、鈴木均理事、鈴木亨理事、秋尾晃正フェロー、樋口哲朗フェロー
理事会	2017 年 2 月 3 日 (金) 18 時～20 時 (株式会社国際社会経済研究所会議室)	第 1 号議案: 人事について 第 2 号議案: 平成 28 年度事業活動中間報告 第 3 号議案: 平成 29 年度事業活動計画の考え方	藤田和芳代表理事、熊野英介副代表理事、町野弘明専務理事、植木力常務理事、海津歩常務理事、加藤喜久理事、川北秀人理事、澤山弘理事、鈴木亨理事、鈴木均理事、胤森なお子理事、原田勝広理事

## II. 事業計画

### 1 今後の活動計画の考え方

#### 1.1 短期的計画

##### 1.1.1 「シフトラボ」事業の継続的な展開

(1) 総合的アプローチを行うことで、SBN としてのブランディングを図る

理事会での提案、議論に基づき、SBN メンバーと交流することのできる、ギャザリングやサロンを展開する。

[ギャザリング的な場の設定について]

#### ① 「ソーシャルタウン・フォーラム～地方創生、SDGs 実践に向けて SBN ができること～」

- ・ 登壇者:熊野英介副代表理事、町野弘明専務理事・事務局長、胤森なお子理事、鈴木亨理事、大場龍夫フェロー、小出浩平フェロー
- ・ 開催日時:2017年6月15日(木)18時半～20時 ※総会と同時開催
- ・ 会場: NEC 芝倶楽部

#### ② 持続可能経済を検討するシンポジウム

- ・ 登壇者:佐倉統氏(東京大学大学院情報学環 学環長)、熊野英介副代表理事、町野弘明専務理事・事務局長、篠原稔和フェロー 他
- ・ 開催時期:2017年12月7日(木)～9日(土)の日程などで調整中 ※エコプロ 2017 に合わせた開催を想定
- ・ 開催場所:都内会議室を想定

[サロンの場の設定について]

#### ① 毎回異なる SBN メンバーが登壇する連続講座を、「シフト塾」として「丸の内プラチナ大学」との連携により実施する。

- ・ タイトル:「socialSHIFT テーブル」
- ・ 講師、実施日:横石知二理事(7月21日)、海津歩常務理事(8月25日)、藤田和芳代表理事(9月15日)、鈴木亨理事(10月20日)、池内計司理事(11月10日)
- ・ 時間、会場:18時半～20時半(「3×3 Lab Future」フューチャーカフェ)

#### ② SBN メンバーと大企業トップとの対談によるサロン企画を、提案者である川北秀人理事と計画。

(2) 現在展開している専門的アプローチを継続することで、ソーシャル・イノベーションの実践を図る。

特定のソーシャルテーマについて学ぶことのできる連続講座の継続展開を、「シフト塾」として「丸の内プラチナ大学」と連携して進めることを検討する。

- ・ 昨年度実施した連続講座:「自然エネルギー・シフト塾」、「障がい者雇用塾」、「フェアトレード・ビジネス塾」

(3) アクション・コミュニティを構築・推進することで、ヒューマン・イノベーションの展開を図る。

受講後、修了生が参加することのできる「コミュニティ」の展開を検討し、シフトを目指す方々のソーシャルキャリア・パス促進を模索する。富士ゼロックス総合教育研究所や、東京大学情報学環等と進め方に関して検討中。

〔既に展開を進めているコミュニティ〕

① 障がい者雇用コミュニティ

担当である海津常務理事を中心に、メンバー所属組織のケーススタディを行う。合わせてココ・ファーム・ワイナリーへの「ワンデイ・シフト」を計画(7/22 または 7/29)。

② 自然エネルギー・シフト コミュニティ

担当である鈴木亨理事を中心に、プロジェクト・プロデュースへと移行。国土交通省が展開する「住宅:空き家再生等推進事業」を活用した事業化を図るべく、7月または8月でコミュニティのメンター役である大場龍夫フェローが関係する、山梨県道志村へのフィールドワーク等を計画。

### 1.1.2 「シフトラボ」事業の新たな展開

#### (1) 未来志向のヒト・コト・マチ創生、B2C、B2B、B2G 展開の統合モデル推進

「ソーシャルビジネス元年」として位置づけた東日本大震災から6年が経過し、ソーシャルビジネスの認知や活動が浸透している。一方で、地方創生の実現に向けた施策が進められ、地方創生の鍵の一つとして、ソーシャルビジネスが注目を集める中、設立趣意書で謳っている「ソーシャルビジネスは、地域社会が本来持っていた人と人との絆や自然と共生する智恵などを再評価し、社会を再構築する試み」という考え方に立ち戻り、地方創生に寄与する活動を加速化する。来年度に向けて、パートナーと共に、事業開発プラットフォームの設立を推進する。(※別紙「地域シフトラボ事業フレーム」参照)

その導入的な位置づけとして、「シフト塾」として、「丸の内プラチナ大学」との連携によるSDGs関連講座、及び、シフト・ファーム・プログラムとしての、ハンズオン型ケーススタディによる実践サポート&研修プログラムを、異業種交流形式で実施する。

〔SDGs 関連講座の実施について〕

- ・ タイトル:「SDGs ビジネスコース」
  - ・ 講師、実施日:川北秀人理事×SDGs 先進企業担当者(8月23日)、川北秀人理事×SDGs 先進自治体として雲南市担当者(9月6日)、高津玉枝フェロー(9月13日)、町野弘明専務理事・事務局長×岩手県陸前高田市長(11月8日)
  - ・ 講座全体の解説、ファンリテーション:小出浩平フェロー
  - ・ 時間、会場:18時半～20時半(「3×3 Lab Future」コミュニケーションゾーン)
- (※別紙「SDGs ビジネスコース」参照)

〔シフト・ファーム・プログラムの実施について〕

- ・ タイトル:「シフト・ファーム・フォー・ソーシャル・タウン」
  - ・ 講師:日野公三理事、池内計司理事、河野通洋フェロー、樋口哲朗アドバイザー(交渉中)
  - ・ 展開概要:NEC ネットエスアイ、三井化学、松竹の3社参加による異業種交流の研修事業として、東京での事業創造ワークショップと地域(陸前高田市)でのフィールドワークを繰り返すことで、ビジネスモデルの構築及び実践サポートのトライアルを行う。
- (※別紙「シフト・ファーム・フォー・ソーシャル・タウン」参照)

(2) 法人・国・自治体への重点的な営業開発、事業開発

地方創生や働き方改革、一億総活躍などの流れを受け、法人や国・自治体等の開発を行う。岩手県陸前高田市において開発を進めてきた“就労困難者も協働共生できるまち「ユニバーサル・タウン 陸前高田」創造事業”は、「平成 29 年度 地方創生推進交付金」の採択を受け、陸前高田市と連携しながら推進を図る。

※別紙「ノーマライゼーションという言葉の知らないまち ユニバーサル・タウン陸前高田(仮称) 協働共生できる「幸福の黄色いまち」 趣意書(案)、推進計画(案)」参照

1.2 中期的計画

1、2年という中期的なスパンで、組織戦略に関する検討を行う。今後の中長期的な視野でビジョン・ミッションや、体制、活動などのあり方も改めて見直し、改革を図る。熊野副代表理事を中心に、今後の展開について検討中。

改革の方向性

- A:現状におけるミッションの明確化…ソーシャルタウン(自立型共同/協働自治体等)の創生、等
- B:グローバル・サステナブルかつ未来志向の展開推進…SDGs や CSV の動き等への対応、等
- C:経済団体としての持続可能な運営…中長期的な財政基盤の安定の追及、等